

令和5年度 学校経営環境分析書

蒲刈中学校区 校番 31 学校名 呉市立蒲刈小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者が教育活動に協力的である。 ・読書ボランティアやゲストティーチャーなど、地域の人々の協力が得やすい。 ・自然環境・文化施設に恵まれ学習や教材開発に活用できる。 ・同じ敷地内に小・中学校があるため、合同行事や中学校の教職員による乗り入れ授業がしやすい。 	<p>S (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は明るく素直で礼儀正しく、学年を超えて仲が良い。 ・穏やかな性格の児童が多く前向きな気持ちで授業に取り組む。 ・少人数のため実態把握がしやすく、児童を見守り、情報を共有でき、個に応じた指導が充実できる。 ・小中が連携しながら授業改善や行事を行っている。 ・朝会等、一人で発表する場を設定しやすい。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や人的・物的環境を生かした教材開発（「ふるさと学習」）及び実践と改善 ・小中一貫教育の一層の推進 ・少人数を生かした学習展開の工夫と全教職員での指導の徹底 ・ICT機器を活用した個別最適の学びや発表する機会の設定
	<p>T (阻害的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、児童数が減少している。 ・交通が不便なため、社会見学が制限される。 ・校区が広いため、放課後や休日に友達と遊ぶことが難しい。 ・児童が活用できる、公共施設が少ない。 ・光回線が未整備 	<p>W (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の低い児童がいる。 ・基礎学力の定着度が低い児童がいる。 ・切磋琢磨する場面が少ない。 ・自分の考えを表現する力が十分でない。 ・あいさつと返事の声が小さい。 ・教職員数が少ないため、分掌内容等一人一人の負担が大きい。 ・少人数で教育活動を行う際の経費負担が大きい。 		<p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p>

2 重点課題

- ① ICT機器を効果的に活用し、スキルタイムを充実させながら基礎・基本を徹底すると共に、「考える授業」の研修による授業改善を図り、説明する力を向上させる。
- ② ふるさと学習や小中一貫教育を通して、地域の「ひと・もの・こと」に触れさせ、自ら課題を発見し、進んで学び、活動、表現させ、自己肯定感を向上させる。